

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	ジュニアリーダー養成事業			
■事業開始年度	平成14年度			
■評価事業コード	090200 - 008	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	多種多様な自然・社会体験を経験させることにより、生きる力につながる生活の知恵を習得させる。また、併せて地域のジュニアリーダーとして活躍する子どもを育てる。小学校3年生～6年生の児童を対象とした、通年にわたる自然・社会体験学習講座			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	ジュニアリーダー養成事業	小学3年生～6年生	年9回開催。参加募集25名予定。	年9回、参加18名、延べ129名(平均参加率80%)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	13	14	15	15	
人件費	375	466	436	443	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	388	480	451	458	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	参加申込者数	25名	25名	17名	18名	定員内の申込みである。
02	開催回数	9回	9回	10回	9回	
03	参加率	0.83	0.76	0.82	0.80	延べ参加人数÷(参加申込者数×開催回数)

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

04	1人あたりコスト	15.52千円	19.2千円	26.526.5千円	25.5千円	
05	1回あたりコスト	43.11千円	53.33千円	45.1千円	50.9千円	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動するといった生きる力に關与した力を身に付けさせることができた。また、他の学校、多学年との交流が必然的にあることから、地域のジュニアリーダーの育成に繋がっている。

### 問題点・課題等

参加条件、現代社会における子どもの多忙化等により参加申込者数が定員以下である。また、学校行事等との日程調整が必要である。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

地域教育力向上の取り組みと絡めながら進めていく。参加条件の緩和等により参加しやすい事業を目指す。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了